

「第2期小松市スポーツ推進計画（案）」
に関するパブリックコメントの結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 募集期間：令和6年4月22日（月）～令和6年5月7日（火）
(2) 提出総数：2通
(3) 提出方法の内訳

持参	郵送	Eメール	FAX	計
0	0	2	0	2

2. 意見の概要と考え方

意見の概要	市の考え方
p 8 生涯スポーツの推進 生涯スポーツを習慣化するためには「面倒くさい」という心理的な壁を排除する必要があると考える。この推進計画の策定以降に、生涯スポーツを継続するために皆さんがどのような工夫をされているか知りたい。	ご意見のとおり、運動を習慣化（継続）することができない要因の一つに、「面倒くさい」という心理的な壁があると思われます。計画期間中に市民の皆さま向けのアンケートを実施予定ですので、運動を習慣化して継続するための工夫について調査し、「面倒くさい」という心理的な壁を乗り越えるためのヒントを市民の皆さまにお知らせできればと思います。
P 5 子どものスポーツ環境の充実 p 9 スポーツ施設の整備 地区体育館や学校体育館などを含めて施設の有効活用について - 各体育館の一括したネット予約システム化 - 管理が無人となっている地区体育館などの自動ロックシステム化 - 体育館内にスポンサー広告の掲載による地元民間企業の協力体制の構築 - 部活動地域移行による学校施設間の移動手段の検討（市バスの時間帯に応じたルート変更など）	施設の予約システム、施錠、民間との連携等のご意見につきましては、合理的な管理方法を検討するうえで参考とさせていただきます。 部活動地域移行に関しては、各種目別協会、小松市まちづくり市民財団と課題の洗い出しと、解決策について協議を重ねており、移動手段の確保についても検討しているところです。子供たちの活動機会の確保のため、引き続き取り組んでいきます。

p 5 子どものスポーツ環境の充実 P 8 生涯スポーツの推進 子どもたちがもっともっとスポーツをエンジョイする環境づくりについて ・部活動を地域に移行することについて、「身近であること」、小学校のときから地域でスポーツを楽しむ環境を整えるため学校と地域が一体となった取り組みができないか。 ・各競技を協会のサポートのもと小中学校の授業で開催し、その延長線上に地域の大会（小中学校～大人まで）がある環境づくりはできないか。 ・体育授業と地域や競技協会が一体となった取り組みができればスポーツの魅力が子どもたちに伝わるのではないか。	幼少期から様々なスポーツに楽しむことは、自分に合ったスポーツを見つけ、大人になってもスポーツをする人が増えることにもつながりますので、様々な観点から重要だと考えています。 スポーツに興味を持ってもらうためのきっかけを作り、楽しいと感じて続けてもらうためには、身近にスポーツができる環境（ハード・ソフト両面）を整えることが大切です。 中学校部活動の地域移行については、活動場所や活動費、指導者の確保、活動場所への送迎など多くの課題があります。学校、各種目別協会、地域、行政などが連携し、諸課題の解決を図りながら地域移行の推進を検討していきたいと考えています。 ・学校体育においては、本物に触れて運動の楽しさやスポーツの魅力知ってもらうために、県内のプロスポーツチームを招いてのスポーツ教室や専門家を招いての体操教室などを実施しています。中学校部活動の地域移行に伴い、小松市スポーツ協会を通して、各種目別協会との連携を図りながら、学校体育でも同様な取り組みができないか検討していきたいと考えています。
p 9 スポーツ施設の整備 スポーツを観る環境として駅前市民公園の整備について ・小松駅西の市民広場の屋根付き化、人工芝化（4分の1程度）を行うことで日常から市民が集まる場になるのでないか。その上でパブリックビューイングを行うことで「見る」スポーツ、人工芝を活用した「する」スポーツのきっかけになるのではないか。	市民公園に屋根を設置することについては、利用者ニーズや機能、また設置することによるメリット、デメリット等について調査したいと考えています。 パブリックビューイングについては、末広野球場が大規模改修によりスコアボードが全面フルスクリーン化されることから、野球場で様々な競技のパブリックビューイングを実施できないか検討したいと考えています。